



現場監理の達人 集合住宅編

第4回 土工事

工事監理ガイドライン・工事監理チェックリスト



### ここでの監理者の心構え



工事は建物を設置する地盤を決めるものであり、監理者は根切り底のレベルと状態が、設計図書通りであることを確認することが重要です。ベンチマークから根切り底のレベルを算出して、現地のレベルが正しいことを確認します。根切り底のレベルが間違ってしまうと、建物のレベルが設計図書通りに位置しなくなってしまう。

また、掘削時に根切り底を荒らしてしまうと、地盤強度が低下したり地盤が沈んだりする原因になります。監理者は根切り底の状態を確認し、掘削し過ぎた箇所があれば、適切に対処しているか確認が必要です。

|     |  |       |           |
|-----|--|-------|-----------|
| 工事名 |  | 工期    | 年 月 日 ( ) |
|     |  | 監理責任者 |           |

### ■ 工事監理ガイドライン「3. 土工事」〈確認項目及び確認方法の例示〉

| 工事内容   |        |           | 工事監理者の確認内容                    |   |
|--------|--------|-----------|-------------------------------|---|
| 工事の種類  | 項目     |           | 確認項目                          | 具体的な確認方法  |
| 3. 土工事 | 3.1 材料 | ①埋戻し土及び盛土 | ・種類、土質                        | ・目視に係る立会い確認<br>・自主検査記録・施工記録・材料搬入報告書に係る書類確認              |
|        |        | ①根切り      | ・根切り底の深さ、状態<br>・支持地盤（直接基礎の場合） | ・目視に係る立会い確認<br>・計測に係る立会い確認<br>・自主検査記録・施工記録・工事写真等に係る書類確認 |
|        | 3.2 施工 | ②埋戻し及び盛土  | ・締固め工法、転圧厚さ<br>・余盛り高さ         | ・目視に係る立会い確認<br>・計測に係る立会い確認<br>・自主検査記録・施工記録・工事写真等に係る書類確認 |

### ■ 工事監理チェックリスト「3. 土工事」〈公共建築工事標準仕様書（建築工事編）を参考に作成〉

| 工事内容        |       |     | 工事監理者の確認内容              |   |
|-------------|-------|-----|-------------------------|---|
| 工事の種類       | 項目    |     | 確認項目                    | 具体的な確認方法  |
| 1. 根切り及び埋戻し | 3.1.1 | 根切り | ・埋設物の状況                 | <input type="checkbox"/> 給排水管、ガス管、ケーブル等を施工者が掘り当てた場合に、対応方法を施工者と協議<br><input type="checkbox"/> 予想外に重大な障害物を発見した場合には、施工者と協議   |
|             |       |     | ・根切り底の状態、土質、深さ<br>・支持地盤 | <input type="checkbox"/> 根切り底の状態、土質及び深さについて検査<br><input type="checkbox"/> 支持地盤が設計図書と異なる場合には、施工者と協議<br><input type="checkbox"/> 施工者が地盤をかく乱してしまった場合、自然地盤と同等以上となるように、適切な処置がとられることを確認 |

| 工事内容        |               | 工事監理者の確認内容                             |   |
|-------------|---------------|--|---|
| 工事の種別       | 項目            | 確認項目                                   | ✓ 具体的な確認方法  |
| 1. 根切り及び埋戻し | 3.1.2 排水      | ・排水の状態                                 | <input type="checkbox"/> 予想外の出水等により施工上重大な支障が生じた場合は、施工者と協議<br><input type="checkbox"/> 近隣、放流先に有害な影響を与えないように、適切な処置の確認   |
|             | 3.1.3 埋戻し及び盛土 | ・埋戻め及び盛土に使う土質<br>・締固め工法、転圧厚さ<br>・余盛り高さ | <input type="checkbox"/> 埋戻し及び盛土に使う土の土質が適していることの確認、適さない場合には施工者と協議<br><input type="checkbox"/> 埋戻し及び盛土の材料に対する締固め工法の確認<br>※別表 3.1.1 参照<br><input type="checkbox"/> 埋戻して型枠を存置する場合は、施工者と協議<br><input type="checkbox"/> 土質に応じた余盛りの確認 |
| 2. 山留め      | 3.2.1 山留めの設置  | ・山留めの安全性                               | <input type="checkbox"/> 山留めが適切な資料に基づき構造計算を行い、地盤の過大な変形や崩壊を防止できる構造及び耐力を有する確認   |
|             | 3.2.2 山留めの管理  | ・山留めの状態                                | <input type="checkbox"/> 周辺地盤及び山留めの状態の点検・計測の確認<br><input type="checkbox"/> 異常を発見した場合には施工者が適切な処置をとったことの確認  |
|             | 3.2.3 山留めの撤去  | ・山留めの撤去                                | <input type="checkbox"/> 山留めの撤去について、適切な処置であることの確認<br><input type="checkbox"/> 山留めを存置する場合は、設計図書に定められていない場合は、施工者と協議   |

別表 3.1.1 埋戻し及び盛土の種別

| 種別  | 材料              | 工法           |
|-----|-----------------|--------------|
| A 種 | 山砂の類            | 水締め、機器による締固め |
| B 種 | 根切り土の中の良質土      | 機器による締固め     |
| C 種 | 他現場の建設発生土の中の良質土 | 機器による締固め     |
| D 種 | 再生コンクリート砂       | 水締め、機器による締固め |

メモ